

ayame (2) - Makoto SUNAHARA



本書の一部または全部を無断で複製、複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。

©2002 Makoto SUNAHARA

No graphic of this book may be reproduced or varied, altered, modified, adapted, distributed, performed, displayed in any form, without permission in writing from the copyright owner.

■
ayame (2)
Makoto SUNAHARA



これまでのあらすじ

原因不明の病で意識の戻らない母を救うため、どんな病も治す方法が載っているという「アルモの外典」の噂を聞いた祥瑞はその本を求めて家を飛び出した。家に連れ戻そうとする使用人達を欺くため女装までしたがその効果もなく追われていたところを、偶然出会った片目の刀使いあやめに助けられ、道中を共にすることとなる。

外典の情報を求めて図書館へ向かう途中、火傷した体を引きずって歩いている少女、菅雲と出会った2人は、彼女が外典の写本の後継者であり、そして彼女の住んでいた村が何者かに襲われ焼かれた事を知った。図書館に保管されていた外典の写本は正体不明の人物によって目の前で焼き払われてしまう。3人は残された写本を求めて行動を共にすることとなる…。



あやめ 第二話 05-38
誰が為に鐘は鳴る 40-41





あやめ 第二話





以前の自宅は
あの有様でした

今は知人から
借りたこの家に
住んでおります

やはり
原因不明の
火事ですか？

？

私の家も村ごと
焼かれてしまっ
ました

助かったのは
恐らく
私一人です

お父様達も
お亡くなりになっ
た？

はい
それと
写本も

…なんと

…そういえば

この方達は

そんな
大したものじゃ
ないですよー

命の
恩人です

キイ



おじいさん
お客さま？



ああ 息子の
叢雲です

叢雲さんは
会ったのが
初めてでしたね

火事で
顔の半分を
焼いてしま
ましてね…



お気になさ
らないで下
さい

命があつた
だけで僕は
満足して
います
叢雲さんこそ
無事でよかつた

叢雲さん
今日は
どうぞ
泊まって
いって
下さい

はい



私達は町に宿を
とつてますので
これで失礼しますね

え？
宿とつて
たつて？

ね
あやめ

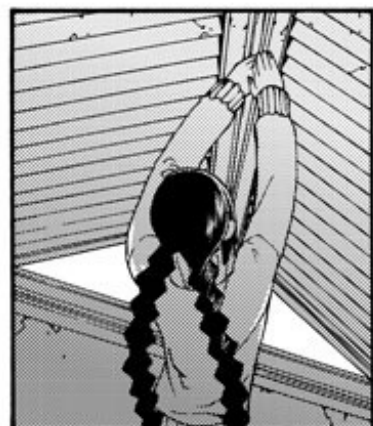


また明日
来ますので

じゃあね
蛭ちゃん



あそこまで
あからさまに
嫌な顔され
ちゃあねえ



流石に
居づらい
よねー

まあそう
言わない

状況が
特殊だから
部外者を
怪しむのは
当然だよ



こっからなら
あの家が
見えるし

なんか
あっても
大丈夫だろ

そうそう
何かあるとも
思えない
けどさ



祥瑞様
今日はここで
お休みか

一体何処へ
行くつもり
なのでしょうね
あれからもう
2カ月ですよ?



旦那様は
暫く様子を
見ると仰る
だけだし…

文句を
言うなよ
これも
仕事だよ？

心配してるん
ですよ
ねえ…あの写本で
一体なんなのですか？

さあね
私も知らない
祥瑞様が
あそこまで
躍起になって
いるのだから
凄いやつなんだ
ろうけどね

奥様を
治したい
一心なんで
しょうか…

なんとも
いじらしい
ですね

…はたして
そんな単純な
ものなのかねえ

お兄さん
護身用に
一振り
如何です？





お兄さん

こういうのは
如何?



こんな
ところで
刀売ってる
なんて
変な町

結構
いい感じ
ですよ
地元じゃ
見かけないの
ばかりです



あれ
言ってます
でしたっけ

僕の趣味
短刀収集
なんです

お前
こういうの
好きだっけ?



おお!

かっこいいー!

短刀収集が
趣味じゃ
なかった
のか?

一目惚れ
しました!



翠映さん
燎火さん
宿取れ
ました

まあ
休もう
疲れが
溜まってるよ

知ってます?
この温泉って
評判いいんですよ

それは
楽しみだ
なあ





そういえば
白秋さん
ずいぶん
酔っていた
みたいだけど
大丈夫？

そんな…



あんなに喜んでる
おじいさんは
久しぶりに見たよ

蛭ちゃんのお
おかげだね



もう
寝ちゃっ
たよ
それより
悪いね片づけ
手伝ってもらっ
ちゃって

お客様
なのに



これ終わったら
お茶どう？

うん



まだ無理して
笑ってるようにも
見えるけどね



あの男の子と
お茶飲んでるよ

あれだね
最近やつと
蛭ちゃんも
笑うように
なったね





守護石の
ことも？



いいえ

父は何も
教えては
くれなかつた
ので…



アルモの外典が
どういふものか
知ってるの？



詳しいことは
知りません

…こんな事に
なるのなら
もっと早くから
きちんと聞いて
おけばよかつた



ふむ



ごめん
僕が悪かつた
突然だもの
受け継ぎが
出来なくても
しかたないさ

むしろ君は
これらから
解放さたんだ
気に病む
ことはないよ
元気だして



ありがとう
叢雲さん…









!?

それは
守護石
ですね

名前も
詳しい事も
知りません
蜚ちゃんか
くれました

これは一体
何ですか？

写本が全部で
十二冊あるのは
ご存じで？

一冊に一つ
守護石があり
各々の家系で
伝え護っている
わけです

有事の際は
その名の通り
本を伝える
者を護り
補助をします

はい

具体的には？

使用者の身体の
欠損を補い
肉体を強化
します

肉体を強化
ねえ…

今んとこ
そういう
実感は
ないな

そなの？

そんでだ
どうして写本が
燃やされないと
いけないの？

今はもう失われた
知識が詰め込まれた
本なんだよ



欲する者がいても
公にしては
いけない知識の
固まりなんだ



すでにこの世に
そくわないもの
なのかも
しれないね

いつ書かれた
ものかは知らない
けれど



修繕して
くれないか
ここにいては
蛍雲が衰弱して
しまう

私のせいで
彼女に死なれては
父上に申し訳ない



私が何者かは
私自身知らない
けれど現れたの
には理由がある
この子の
縫いぐるみを
引き裂いたね？



あなた
蛍ちゃんじゃ
ないね？



…ああ
そういえば



私には役割がある

彼女を生かし
時がきたら
父上の遺言を
伝えねば

死なれては
困る



さあ私には
分からないね

書いた奴
なんじゃ
ないか？



ん
分かった
直しとくよ

頼んだよ



一つ教えて
欲しいん
だけど……
写本を燃やして
いるのは
誰なんだ？



危険ですから
すぐ燃やして
おしまいなさい

石は
あなたの
右腕か…

使用中ならば
それで結構
相手は未使用を
欲しているよう
ですから



白秋さん
この
写本は
まだ無事
ですね？

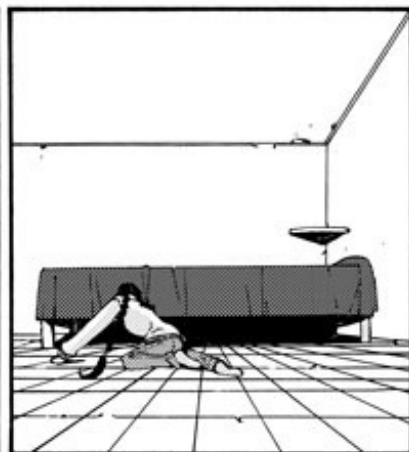
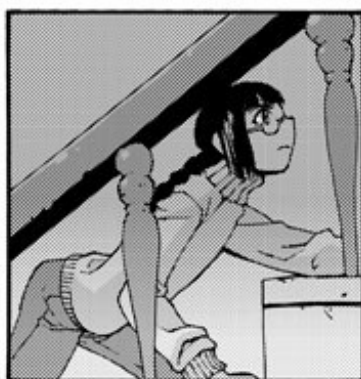
はい
先ほど確認
したところ
手元に
ありました

え!?













え？

凄く嫌な
感じがする
私達だけじゃ
対処できない
かもしれない

いいから
早く
行け！

燎火 あんたは
あやめ呼んできて



!?



翠映!?
あんたまだ
ついてきて
いたのか？



はい



ご助力
願います!!

あやめさん！



祥瑞様に
危害を
加える者は
許しませんよ

ん？あんた
この前の
猫耳か

燎火と
申します

祥瑞様の
護衛を勤めさせて
頂いております

どうも
どうも
で一体
どうしたの？

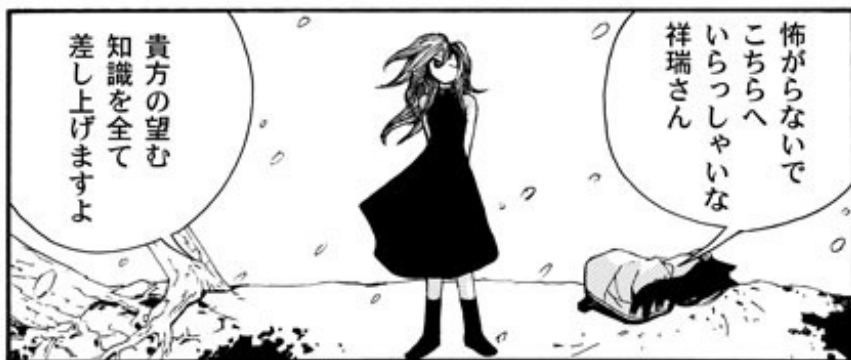
祥瑞様が
怪しい女性に
接触されました

我々だけでは
お守りできない
かもしれませぬ

これ借りるね

ま待って下さい

ちんたら
待ってられるか！





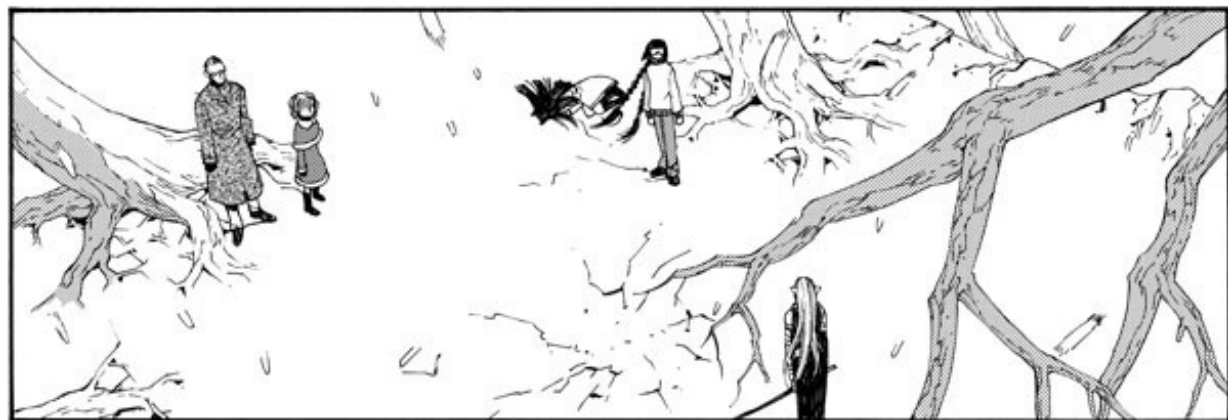




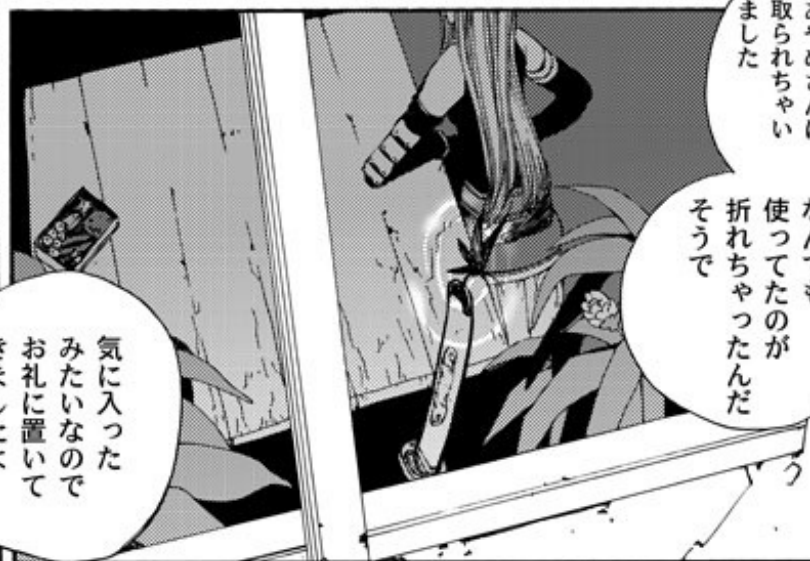


もうその本は手遅れだ
一緒に焼かれないのか！









あああれですか
あやめさんに
取られちゃい
ました

なんでも
使ってたのが
折れちゃったんだ
そうで

気に入った
みたいなので
お礼に置いて
きましたよ



これであちらの
動向はいつでも
分かるよ

…けっこー
えげつないっ
ていうか

悪趣味っーか
抜け目ないって
ゆーか…



本当は猫達と
そのボスの動きを
知りたかったん
だけどね

でもこれはこれで
便利だと思おうよ？



分かった
分かった

さ 次行こう



次で
蛍ちゃんが
知ってる分は
最後？

はい
おじさん
ご無事だと
いいん
ですが…

まあ 急ぐか
色々気になるし



こっちに
来ないかって
どういう意味
だろう…

そもそも
「こっち」って？



あんまり
くよくよ
考えたって
しかたないさ



いってっ！
なにすんだ
よっ！！



次の本は
意地でも
祥ちゃんに
読ませたる！



あ と が き

こんにちは、もしくは初めまして。砂原真琴です。

やっと第二話が出来ました。

今回はなんだか祥瑞君が暴走気味です。次回、次々回と更に暴走しちゃうそうな、しなさそうな、そんな感じで。つか、誰が主人公だこの漫画は…あやめ御茶飲んでぼーっとしてるし。

…次回は活躍しますよ、きっと、たぶん。

このシリーズは全四話、コミケごとに新刊を発行する予定です。

…ってことは完結は2003年の冬コミってことになりますね。来年の話をするとう鬼が笑うといいますが、よほどのことがないかぎりは予定通りに発行できると思います。

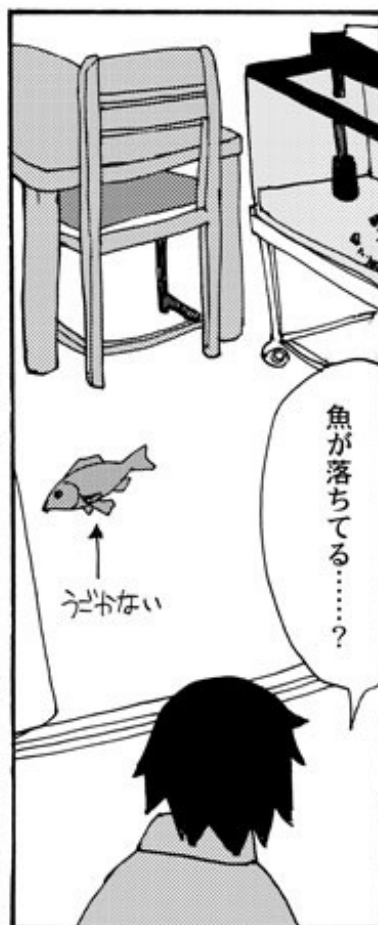
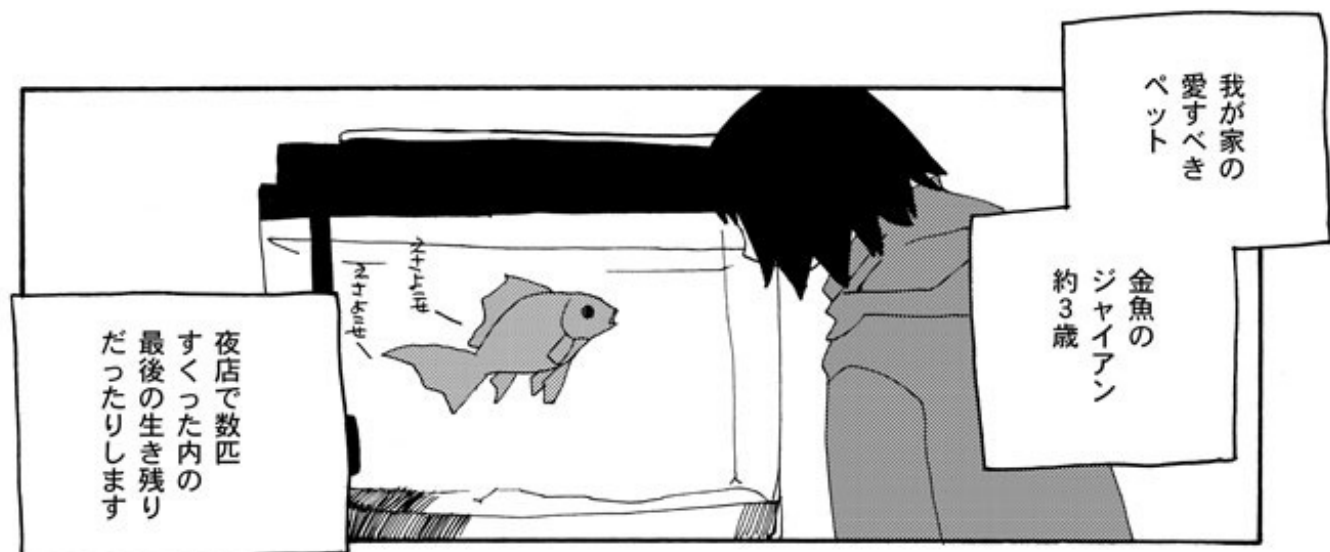
よろしければこれからもお付き合いくださいませ。

ではでは、第三話でお会いしましょう。

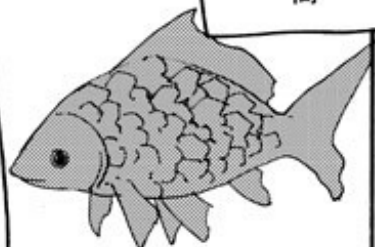
2002.12.06 砂原真琴

For Whom the Bell Tolls.

誰が為に鐘は鳴る ~ オーロラ作戦編 ~



おかげで暫くの間
体中が傷だらけ



今でも少し
傷跡が残って
ます

なんだかんだで
ずいぶん大きく
なったので
水槽を大きなものに
変えてやりました

殺風景だから
水草いっぱい
入れてやる

びー
びー

ただいま

用事があった
2日ほど家を空け
帰ってくる
そこには

ぶか

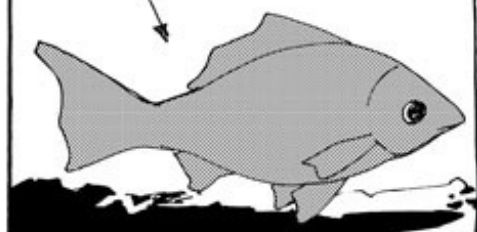
うあ
つ
!!

新しい水に
入れたら
なんとか元気に
なりました
つまり

酸欠?

満身創痍だけど
愛してやまない彼には
なんとか長生きして
欲しいです

ねる



あやめ 第2話

2002年 12月 30日 第1刷発行
2003年 12月 30日 第2刷発行

著 者

砂原真琴

(C)Makoto SUNAHARA 2002

発行所

砂原堂hybrid

発行者

新月直久 / 砂原真琴

Printed in Japan

印刷所

落丁・乱丁本が万一ございましたら、発行者宛にお送り下さい。送料当サークル負担でお取り替え致します。
本書の一部または全部を無断で複写、複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。



* S - h y b r i d *



0 221230 004761